Tazaki 財団英国留学奨学金留学成果報告書

一 橋 大 学

所属学部・学年	経済学部 4年	氏 名	鈴木拓斗
派遣先国 (地域)	イギリス	派遣先大学	ブリストル大学
派遣期間	2024年 9月 ~ 2025年 5月		

留学目的の達成度・留学成果について

私の留学の目的はイギリスで生活し文化的な違いや大学生活の違いを経験することと経済学を幅広く学ぶことだった。一つ目に関しては、留学中には様々なバックグラウンドを持った学生と交流し、寮で共同生活を送ることで様々な価値観や文化を知ることができた。また大学生活の違いについて、日本とイギリスで似ているところも違うところも見つけることができた。例えば、イギリスの学生は日本の学生よりもメリハリがしっかりしていて、遊ぶときは全力で遊び、勉強するときは集中して勉強しているように感じた。またイギリスの学生は社会問題への関心が高く、授業でもいろいろな意見が飛び交っていた。二つ目の経済学を幅広く学ぶことについては、これまで学んでこなかった授業に挑戦することで新しい見方や知識を多く得ることができた。同時に経済の問題について関心を持って生活を送っていくことが経済学を学ぶ上で大事だと感じた。

海外での生活について

私は大学の寮に住んでいて、5人で同じフラットに住んでいた。彼らにはイギリスの生活で分からないことなど、非常に助けられた。自分自身、寮などで共同生活をするのが初めてで大変なことがあるのではないかと不安だったが、フラットメイトはみんな優しく特に問題なく楽しく生活を送ることができた。私が住んでいた寮の周りは自然も多く、フラットメイトたちと散歩に行くこともあった。また寮でのイベントも多くあり、違うフラットの人たちとも多く交流することができた。一方で、イギリスの生活では現地の人と英語で会話することに大変苦労した。ネイティブの話すスピードはとても速いうえ知らない表現も多く、相手が言っていることが理解できないことも多くあった。また自分が言いたいことを上手に伝えられないこともあった。しかし、私が関わった人はみんな優しく、私が理解できないときはゆっくり丁寧に教えてくれ、私が伝えたいことがあれば真摯に耳を傾けてくれた。そのおかげもあり、徐々にコミュニケーションがスムーズにとれるようになったと感じた。

派遣先大学の授業内容について

派遣先大学では経済学を中心に履修した。具体的には1学期目には、Philosophy of Economics, Practical Data Science for Economist, Topics in Applied Economicsを履修した。2学期目には、Industrial Economics, Behavioral Economics, Applied Partial Differential Equations 2を履修した。どの授業もこれまで勉強したことのないトピックを扱っており非常に刺激的だった。

すべての授業に共通して lecture と seminar があり、lecture は大人数での講義で、seminar は lecture の内容に関連した論文や具体的な事例を取り上げた少人数の授業だった。経済学の授業の内容は日本と比べるとより応用に焦点が当てられており、seminar では授業で学んだことをどう応用するかについて議論することが多かった。授業の雰囲気としては日本と比べて双方向的で学生も多く質問するうえ、教授も多く質問を投げかけていた。日本と比べて経済問題について関心が高く、授業の中でも積極的に議論に参加する学生が多いと感じた。学期末のレポートやテストは内容の難しさに加えて英語でエッセイや解答を書かないといけない点でも非常に苦労した。

今後の学習・進路への影響について

留学以前から経済学には興味を持っていたが、今回の留学ではこれまでに勉強してこなかった新しい分野に挑戦したことで、より幅広い視点から問題を考えられるようになったと感じている。引き続き大学院に進学して学んでいきたいと考えている。また今回の留学のおかげで、海外で暮らしていける自信が得られ、より多様な価値観に触れて国際的に活躍していきたいという気持ちが強くなった。今後は将来国際的に活躍できるよう努力していきたい。特に英語での会話には苦労したので今後も英語を引き続き学習していきたい。

寄附者への謝意

この度は Tazaki 財団様よりイギリスへの海外派遣留学奨学金のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。Tazaki 財団様のご支援により、この留学期間中にブリストル大学で学び、多様な人と交流し、様々な新しい経験を積むことができました。この経験は私にとってとても貴重なもので自身の成長に大きくつながったと思います。今回の留学で学んだことを生かし社会に貢献できるよう、今後も精一杯努力していきたいと考えております。改めて、この度の多大なるご支援に対し、深く感謝申し上げます。